



香風



令和7年
7月16日 第5号
編集責任
校長 古川 志乃

[南中学校 学校教育目標]

「郷土を愛し、確かな学力を身につけ、未来を切り拓こうとする子どもの育成」

[中期的な教育目標]

- ① 一人ひとりが主体性をもち、学び合い高め合う生徒の育成
- ② 自他を尊重し、仲間と共に粘り強く取り組む生徒の育成

[本年度の重点目標]：

「なかまのことを考え、支え合う集団をめざし行動する生徒の育成」→「**考動**」



Have a nice summer vacation !!



7月19日(土)から、待ちに待った夏休みが始まります。どのような夏休みを過ごす予定でしょうか？ ゆったりリラックスする時間をつくるとともに、自分自身の可能性を伸ばす夏にしたいと思います。先日、1年生に「部活も、習い事等もない休日に何をしますか？」と尋ねたら、(もちろん、「ゴロゴロする」「ゲームする」「友達と遊ぶ」は多かったのですが・・・)「英検に向けて勉強する」「ピアノの練習する」「外で運動する」「読書する」「家の手伝いをする」と言った返答も多く、とても頼もしく思いました。

健康に留意し、そして事故がないように、公共のマナーを守って有意義な夏休みを過ごしてください。

8月6日(水)出校日 8:25登校 11:10帰りの会終了 12:30完全下校(部活動時間含む)
8月25日(月)前期後半の授業開始 8:25登校 15:25完全下校

救命救急講習(1年) 6/26(木)

「今日の授業は命を助ける学習です!」と、八女消防署の井手さん、野田さんのお話で始まった「救命救急講習」。1年生は、6月26日(木)体育館にて「救命救急講習」を受けました。心停止の予防や、万が一心停止が起きてしまったときの早期認識と通報の仕方、一次救命処置(心配蘇生とAED)について説明を受けました。そして、各グループに分かれて、実際に心肺蘇生とAEDの使い方を体験しました。この講習で学んだことを、互いの大切な命を守る行動へと繋げていきましょう。



生徒会執行部の取組『体育会の川柳』

体育会後、生徒会役員がああ素晴らしい思い出を形に残そうと、川柳を全生徒・全職員に募集し、優秀作品を選び、公表(昇降口に掲示)してくれました。



金賞
応援歌 雲押し上げて
一年 鳴り響く



銀賞
体育会 歴史に残る
二年 1ページ



銅賞
跳ぶたびに 近き太陽
一年 初夏の風

ユーモア賞

写真撮影 ちゃんと大事な
三年 競技やで

覚醒したで賞

美しい 覚醒姿
三年 太陽だ

先生賞

大歓声 思いあふれる
無人椅子
先生 生

7月は福岡県同和問題啓発強調月間です。



部落差別のない社会をめざして「同和対策審議会答申」が出され、60年目を迎えますが、依然として部落差別が存在するばかりか、SNSをはじめ、インターネット上における誹謗中傷やプライバシーの侵害等が社会問題となっています。八女市は、令和元年に「部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃を目指す人権擁護条例」を施行し、人権尊重のまちづくりに取り組んでいます。一人一人の人権感覚を養っていくために、誰もが安心して暮らせる社会実現のために、各所で実施されている学びの場に参加していきましょう。

南中学校でも、各学年の発達段階に応じたテーマで人権学習を行い、そして、学んだことや日頃から思っていることを材料に、人権作文の執筆に取り組んでいます。

1年	「7つの立場」 いじめ側、いじめられる側・・・7つの立場(様々な視点)から人の気持ちを考える。
2年	「タヤげが美しい」 部落差別によって文字を奪われた人の生き方から「幸せに生きる権利」を考える。
3年	「多様な性って、何だろう」 「多様性」の意味や自分らしさについての価値を認める。自分の生き方を考える。

- ・ (いじめ問題をテーマにした)アニメを見て、いじめに対する思いが変わったから、この気持ちを大切にしていきたい。今までの自分の行動や発言をしっかり見直して、今後につなげていき、更にクラスの雰囲気もよくなるようにしていきたい。今日、自分が考えたことや思ったことを忘れずに生活していきたいと思った。もし、いじめを見かけたら、すぐに止めに入っていじめをなくすための工夫と努力ができるようになりたい。今日学んだことを、必ず次にいかして、誰もが広い心をつくって多様性を認め合える関係になれるように頑張りたい。(1の1さん)
- ・ 今日の学習で、当たり前読み書きができていた僕たちの裏側に、部落差別で学校に通うことや学習することができずに、読み書きができない人が、今もなお、日本には約120万人いることがわかりました。その人たちにとって、文字を織(し)るとは、楽しみや幸せを感じるものだということを知ることができました。このような差別をなくしていくためにも、一人一人が人権学習をいかに真剣に聞くことができるかが大切だと思いました。(2の3さん)
- ・ 好きな物や事、人が違うのは、それぞれの個性であり、よさでもあると思うから、そのことをからかう人、変に思ってしまう人自身に最も問題があると思った。この多様な価値観(同性愛等がある世の中)について、多くの人が関心を持ち、互いを認め合う、正しく知ることが大切だと思った。一人一人が過ごしやすい場所、空間を作るには、周りの人が差別をしない、偏見をもたないことが大切だ。(3の1さん)
- ・ 性自認、性的指向、性表現の意味や、誰もがそれぞれの性のあり方を持っていることがわかった。人それぞれの違いを大事にするために、人を傷つけることを言わず、当たり前を押しつけないようにしたいと考えた。今日の授業で学んだ人達は支援されていないのかなと心配に思っていたが、「Ally(アライ)」というLGBTQを支援する人がいて、すごくうれしく、安心した。(3の2さん)

社会を明るくする運動「八女地区青少年弁論大会」

7/5(土)



7月5日(土)、おりなす八女はちひめホールにて、第75回“社会を明るくする運動”「八女地区青少年弁論大会」が開催されました。八女市、筑後市、広川町内の中学校・義務教育学校(後期課程)・高等学校から代表1名が参加し、生命の尊さや思いやり・人と人との繋がりの大切さ、平和の尊さ、郷土愛、向上心といった様々な観点から自分の考えを述べました。聞いている誰もが、「元気になる」「心温まる」「笑顔になれる」・・・そのような素晴らしい青少年の思いに触れることができました。本校からは、3年生の加藤逢音さんが「人生で出逢う音」という題で、吹奏楽部で人を感動させた経験を通して、音楽の素晴らしさを伝えるとともに、世界平和への願いを堂々と発表することができました。



授業参観・学年保護者会 7/11日(金)

給食試食会 6/25日(水)

7月11日(金)、授業参観および学年保護者会を実施したところ、酷暑にもかかわらず、多くの保護者の皆様に参観していただきました。今回も駐車場の不足でご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ございませんでした。

また、6月25日(水)には、PTA 成人教育委員会による「給食試食会」を実施(3年生 PTA 役員さん、各 PTA 役員さんを対象)したところ、11名の方に参加していただきました。本校の教育活動にご理解・ご協力をいただいていることに、あらためてお礼申し上げます。